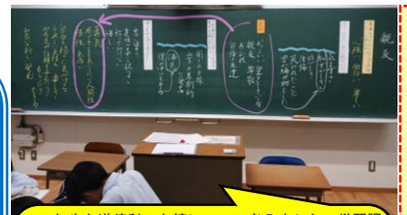
王寺北義務教育学校を『あいさつとありがとうのあふれる学校』に

王北通信

令和８年11月２日　第22号

https://www.town.oji.nara.jp/kitagimukyo/communication/9787.htm



７年生と道徳科で友情について考えました。学習課題は「友達とはどんな存在であるか」です。教材の各ポイントで、近くの友達と意見交換しながら考えを広げ深めます。「自分の弱さに気付ける」「やる気や信頼を与え合える」「互いに新しい発見がある」など、これまでと違った視点から友情の意義に気付きました。

みんな、本を読もう！

メディアセンターでは学校司書の藤澤さん、久保さんをはじめ図書ボランティアのみなさんがポップなどで新刊の紹介をするなど、本に興味をもてるような工夫をしてくださっています。低学年のみんなに藤沢さんが本の読み聞かせをしてくださっている場面もよく見かけます。今週は読書週間。標語は「静かだけど、冒険中」。本好きの私も本の中で主人公と一緒にいつも冒険をしています。みんなにも素敵な一冊とぜひ出会ってほしいと思います(^-^)





４年生の達磨寺見学

４年生が、やわらぎプロジェクトの一環で達磨寺を訪問しました。王寺町の観光ボランティアのみなさんが達磨寺の中のさまざまな場所や像、碑、墓などを案内してくださり、伝承について説明してくださいました。お寺の庭で「だるまさんがころんだ」も楽しみました(^-^)　６年生では、さらに王寺町全体に視野を広げて、魅力あるヒト、コト、モノや場所を探究します。今から楽しみですね。



体育大会を行いました①

５年生以上で行う体育大会。そして昨年から始めた１～４年生も加わって全校で楽しむフォークダンス。今年は新たにスクールリーダーの９年生から全校へのメッセージも。北義務だからこそできるプログラムが年々グレードアップしています。各学級とも互いに応援し合って力を発揮し、競い合うチームワークの素晴らしさを見せてくれました。詳しくは次号で。



多文化共生について考える（９年生）

９年生が、奈良県多文化共生推進プランについて学び、北義務版の多文化共生推進プランをグループごとに考えました。先日、国際交流員の方々をお招きしてお話を聞かせていただき、自分たちの多文化共生推進プランを発表する機会をもちました。ウズベキスタンから来られた交流員さんが急遽来校できなくなりましたが、中国とベトナムから来られているお二人と交流することができました。様々な国の人々と一緒に暮らすことが当たり前になりつつある今、一人一人が心の中に自分の推進プランをもって関わることが必要だと思っています。

